

政策研究センター リサーチ・プロジェクト 成果報告書

提出日: 2021/2/26

申請者(リーダー): 氏名 小野太一 職名 教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) UHCへの貢献2.0 – 直近状況を踏まえた支援と本質の探究 –

(英文) Contribution to UHC 2.0 – Support based on recent development and quest for the essence –

期間(yyyy/mm/dd): 2020/6/1 から 2021/3/31 1年間

共同研究者:	氏名	職名	所属機関・部局名	(備考)
共同研究者1	島崎謙治	教授	国際医療福祉大学	GRIPS客員教授
共同研究者2	小林尚行	教授	共栄大学	前GRIPS教授
共同研究者3	中村信太郎	国際協力専門員	国際協力機構(JICA)	
共同研究者4	駒形朋子		国立国際医療研究センター(NCGM)国際医療協力局	
共同研究者5				

リサーチ・プロジェクトの目的

一定の人口規模があり、UHC達成に係る基礎的なフェーズを超えているインドネシア、ベトナム、タイを事例として取り上げ、UHCの達成、発展の現状を精査し、個別課題ごとの阻害要因を析出の上、解決に向けた核心となる問題点を抽出する。次いで日本の保健医療福祉政策が同様の課題に直面した際の経験を理論、実務両方の観点から整理する。さらに当該国関係者等との知見の共有、及び単なる保健財政制度の適用に留まらない、UHCの「本質」を明確にすることを目的とする。

研究成果の概要(800字程度) ※新型コロナウイルスの影響により、予定どおりの実施が難しかった場合にはその理由:

本年度は本来的にはタイだけではなく、ベトナム、インドネシアについても基礎的な調査を行うことを企図していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い現地調査が当初より困難であったことに加え、タイに比べて両国に関しての英文の先行研究が比較的少ないこともあり、3国について同等な精度でのレビューを行うより、タイ1国の状況を深掘りする方が意義の深い研究を行い得ると判断した。そのため、各研究班員からの知見の提供や、関連文献の示唆、現地事情に関する助言等を受け、小野は「タイの公的医療保障制度における制度間不均衡の問題に関する文献レビューと日本の経験との比較」とするディスカッションペーパーをまとめ、公表した。ここでは、対象3か国のうちのタイにおける医療保障3制度間の不均衡に関し、事実関係を概観した上で、タイ当局の是正への取組み、重大な影響を及ぼした判例、救急医療の運営改善について整理した。次いで改革が期待通り進まない背景の仮説を3つにまとめた上で、同様に分立した制度の下でUHCを達成する日本の制度構築の歴史における、制度間格差の問題の経緯に目を転じた。そして日本の歴史から、タイが直面する困難の理由となる5つの課題を挙げ、さらに制度改革を可能にする政治、経済、社会環境が整う必要性を示唆した。

このほか、小林はグローバルなUHCの発展に係る一事例としてチリのUHCの状況に係る論文を執筆した(近刊)。駒形はUHCの実現に向け欠かせない看護職員を巡る資格制度、需要供給、国際移動等の現状をまとめ、今後の世界的な発展の方向性を示した「State of World's Nursing 2020」を邦訳するとともに、関連の講演等を行った。また島崎は一口に国民皆保険と言っても多様な姿を見せる各国のUHCの状況を踏まえた日本の特徴を基に、現下の医療政策に係る講演を行った。さらに中村もUHCに関連した講演を、JICAや世界銀行などの場において行った。

研究成果:

[別紙\(\(成果報告書\(研究成果一覧\)\)に記入](#)

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA) 雇用に採択されたプロジェクトについては、RAの具体的な仕事内容を記載してください。また、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)があれば必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)

(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)

※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。

※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

著者	² 件 標題	雑誌名 /所収図書 ¹ の編者・図書 名・出版者等	巻・号 /章・節	発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	⁰ 査読 (有=1)	⁰ 国際共 著 (yes=1)	DOI	¹ オープン アクセス (yes=1)
1 小野太一	タイの公的医療保障制度における制度間不均衡の問題に関する文献レビューと日本の経験との比較 (Articles review on the issue of inequity among different schemes of Thai public health financing system and comparison with the experience of Japan)	GRIPS Discussion Paper (20-12)		2021	-	-	-	-		1
2 小林尚行	チリ共和国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジの課題に関する一考察	共栄大学研究論集	第19号	2021 (2020) (近刊)	-	-	-	-		
3					-	-	-	-		
4					-	-	-	-		

図書:

※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	¹ 件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1 駒形朋子、田村豊光、永井真理(訳)	世界の看護2020(State of the World Nursing 2020)	国立国際医療研究センター 国際医療協力局	2020/11	108
2				
3				
4				
5				

口頭報告・学会発表等:

※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。

※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

報告者等	⁴ 件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1 島崎謙治	日本のUHCの特性と医療制度改革	経済同友会(受益と負担の在り方検討会)(招待講演)	2020/12/4	日本工業倶楽部
2 中村信太郎	Protecting people's lives: Health, Long-term care, and Income security in Japan	JICA課題別研修「高齢化への政策的対応」	2020/11/10	オンライン
3 中村信太郎	Regulating the LTC service industry in transformation	世界銀行Virtual Global Symposium「An Inclusive and Sustainable Aged Care System for Malaysia」	2021/2/16	オンライン
4 駒形朋子	State of the World Nursing 2020の概要	WKC オンライン・フォーラム「最前線を担う看護師 ～グローバルヘルスにおける役割と展望～」	2020/11/23	オンライン
5				